

# 平成28年11月 全国百貨店売上高概況

平成28年12月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	5,257億円余
2. 前年同月比	-2.4% (店舗数調整後/9か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	81社 234店 (平成28年10月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,898,199㎡ (前年同月比:-2.3%)
5. 総従業員数	74,460人 (前年同月比:-3.7%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	4-6月 -4.1%、5-7月 -2.8%、6-8月 -2.9%、 7-9月 -3.4%、8-10月 -4.9%、9-11月 -3.7%

[参考] 平成27年11月の売上高増減率は-2.7% (店舗数調整後)

### 【特徴】

11月の売上高は前年同月比2.4%減。休日1日減の影響もあり、9か月連続のマイナスに終わった。内訳としては、国内市場(シェア97.2%)が2.3%減。インバウンド(シェア2.8%)は、売上が7.1%減と8か月連続で前年を下回ったものの、本年4月以来7か月ぶりにマイナス幅を1桁へと縮めている。なお、購買客数は12.2%増で46か月連続のプラスを記録している。

地区別では2か月連続で18地区全てが前年割れ。10都市計が2.2%減、10都市以外計も2.8%減に終わっている。また、規模別でも全ての店舗規模が前年に届かず。

商品別では、主要5品目(衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品)が4か月連続で揃って前年割れとなった。また、昨年11月は高温の影響により伸び悩んだ衣料品は、気温の低下にあわせ防寒アイテムが動き、2.4%減と回復の兆しは見られるものの、前年を捉えるまでに至らず。食料品はギフト客の買い回り効果もあり、休日減の条件下にありながらも0.6%減と健闘を見せた。なお、化粧品は5.1%増で20か月連続前年を確保した。

年間最大売上となる12月は、身のまわり品や雑貨、食料品のシェアが高まることから、来店客の需要を確実に捉え、3連休を含む歳末商戦に臨みたい。

### 【要因】

(1) 天候：気象庁発表「11月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇本州付近は低気圧と高気圧が交互に通過し、東・西日本の天気は終日の周期で変わり、寒暖の変動が大きかった。

上旬は気温が低く東・西日本太平洋側を中心に晴れの日が多かった。下旬は曇りや雨の日が多く、24日は強い寒気が流れ込み、関東甲信の広範囲で季節外れの雪となり、11月としては記録的積雪となったところがあった。

(2) 営業日数増減 30.0日(前年同月比 +0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日( " -1日/日曜1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数134店舗)

①増加した：20店、②変化なし：32店、③減少した：82店

(5) 11月歳時記(歳暮、七五三)の売上(同上/有効回答数98店舗)

①増加した：17店、②変化なし：49店、③減少した：32店

# 全国百貨店 売上高速報 2016年11月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全 国</b>	<b>525,791,762</b>	<b>100.0</b>	<b>-2.4 ( -3.0)</b>
<b>10都市</b>	<b>356,685,464</b>	<b>67.8</b>	<b>-2.2</b>
札幌	12,998,224	2.5	-0.7
仙台	7,007,668	1.3	-4.4
東京	144,119,144	27.4	-1.4
横浜	32,153,282	6.1	-2.5
名古屋	31,842,417	6.1	-2.5
京都	21,494,511	4.1	-2.2
大阪	65,833,835	12.5	-3.5
神戸	13,042,863	2.5	-4.6
広島	10,982,015	2.1	-1.9
福岡	17,211,505	3.3	-1.6
<b>10都市以外の地区</b>	<b>169,106,298</b>	<b>32.2</b>	<b>-2.8 ( -4.5)</b>
北海道	1,636,279	0.3	-3.7 ( -37.8)
東北	8,463,331	1.6	-1.2 ( -1.8)
関東	76,789,518	14.6	-2.7 ( -5.2)
中部	12,161,127	2.3	-3.4
近畿	22,331,192	4.2	-4.5
中国	12,254,866	2.3	-3.3
四国	8,512,117	1.6	-6.5
九州	26,957,868	5.1	-0.4

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>525,791,762</b>	<b>100.0</b>	<b>-2.4 ( -3.0)</b>
紳士服・洋品	39,351,358	7.5	-2.8 ( -3.2)
婦人服・洋品	106,835,905	20.3	-2.0 ( -2.5)
子供服・洋品	10,557,845	2.0	-3.6 ( -4.1)
その他衣料品	11,744,586	2.2	-3.8 ( -4.6)
<b>衣 料 品</b>	<b>168,489,694</b>	<b>32.0</b>	<b>-2.4 ( -2.9)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>62,067,966</b>	<b>11.8</b>	<b>-4.8 ( -5.2)</b>
化粧品	38,335,153	7.3	5.1 ( 4.5)
美術・宝飾・貴金属	27,991,089	5.3	-9.7 ( -10.1)
その他雑貨	18,812,652	3.6	-5.9 ( -6.7)
<b>雑 貨</b>	<b>85,138,894</b>	<b>16.2</b>	<b>-2.7 ( -3.2)</b>
家 具	5,514,610	1.0	-10.8 ( -11.1)
家 電	2,424,546	0.5	10.9 ( 10.9)
その他家庭用品	15,170,949	2.9	-7.3 ( -7.7)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>23,110,105</b>	<b>4.4</b>	<b>-6.6 ( -6.9)</b>
生 鮮 食 品	32,599,948	6.2	-0.8 ( -1.6)
菓 子	38,387,346	7.3	-0.3 ( -0.8)
惣 菜	32,362,476	6.2	-0.7 ( -1.0)
その他食料品	55,023,647	10.5	-0.8 ( -1.4)
<b>食 料 品</b>	<b>158,373,417</b>	<b>30.1</b>	<b>-0.6 ( -1.2)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>12,611,913</b>	<b>2.4</b>	<b>-6.7 ( -7.5)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>5,348,230</b>	<b>1.0</b>	<b>-0.1 ( -1.6)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>10,651,543</b>	<b>2.0</b>	<b>0.6 ( 0.6)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>18,189,574</b>	<b>3.5</b>	<b>-4.3 ( -4.5)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | - 2.2% (9か月連続マイナス)         |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | - 2.8% (店舗数調整後/13か月連続マイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>- 2.2</b>	<b>- 1.5</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
札幌	- 0.7	0.0	2か月連続マイナス
仙台	- 4.4	- 0.1	9か月連続マイナス
東京	- 1.4	- 0.4	4か月連続マイナス
横浜	- 2.5	- 0.2	11か月連続マイナス
名古屋	- 2.5	- 0.1	11か月連続マイナス
京都	- 2.2	- 0.1	8か月連続マイナス
大阪	- 3.5	- 0.4	11か月連続マイナス
神戸	- 4.6	- 0.1	4か月連続マイナス
広島	- 1.9	0.0	2か月連続マイナス
福岡	- 1.6	- 0.1	4か月連続マイナス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>- 2.8</b>	<b>- 0.9</b>	<b>13か月連続マイナス</b>
北海道	- 3.7	0.0	2か月連続マイナス*
東北	- 1.2	0.0	13か月連続マイナス*
関東	- 2.7	- 0.4	18か月連続マイナス
中部	- 3.4	- 0.1	9か月連続マイナス
近畿	- 4.5	- 0.2	4か月連続マイナス
中国	- 3.3	- 0.1	4か月連続マイナス*
四国	- 6.5	- 0.1	9か月連続マイナス
九州	- 0.4	0.0	4か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、4か月連続で全品目がマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が20か月連続のプラス、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-2.4</b>	<b>—</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-2.8	-0.2	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.0	-0.4	13か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.6	-0.1	7か月連続マイナス
その他衣料品	-3.8	-0.1	13か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-2.4</b>	<b>-0.8</b>	<b>13か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-4.8</b>	<b>-0.6</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
化粧品	5.1	0.3	20か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-9.7	-0.6	9か月連続マイナス*
その他雑貨	-5.9	-0.2	4か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>-2.7</b>	<b>-0.4</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
家具	-10.8	-0.1	9か月連続マイナス
家電	10.9	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-7.3	-0.2	8か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-6.6</b>	<b>-0.3</b>	<b>11か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-0.8	0.0	32か月連続マイナス*
菓子	-0.3	0.0	4か月連続マイナス*
惣菜	-0.7	0.0	4か月連続マイナス*
その他食料品	-0.8	-0.1	2か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-0.6</b>	<b>-0.2</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-6.7</b>	<b>-0.2</b>	<b>13か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-0.1</b>	<b>0.0</b>	<b>5か月ぶりマイナス</b>
<b>その他</b>	<b>0.6</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-4.3</b>	<b>-0.2</b>	<b>69か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>